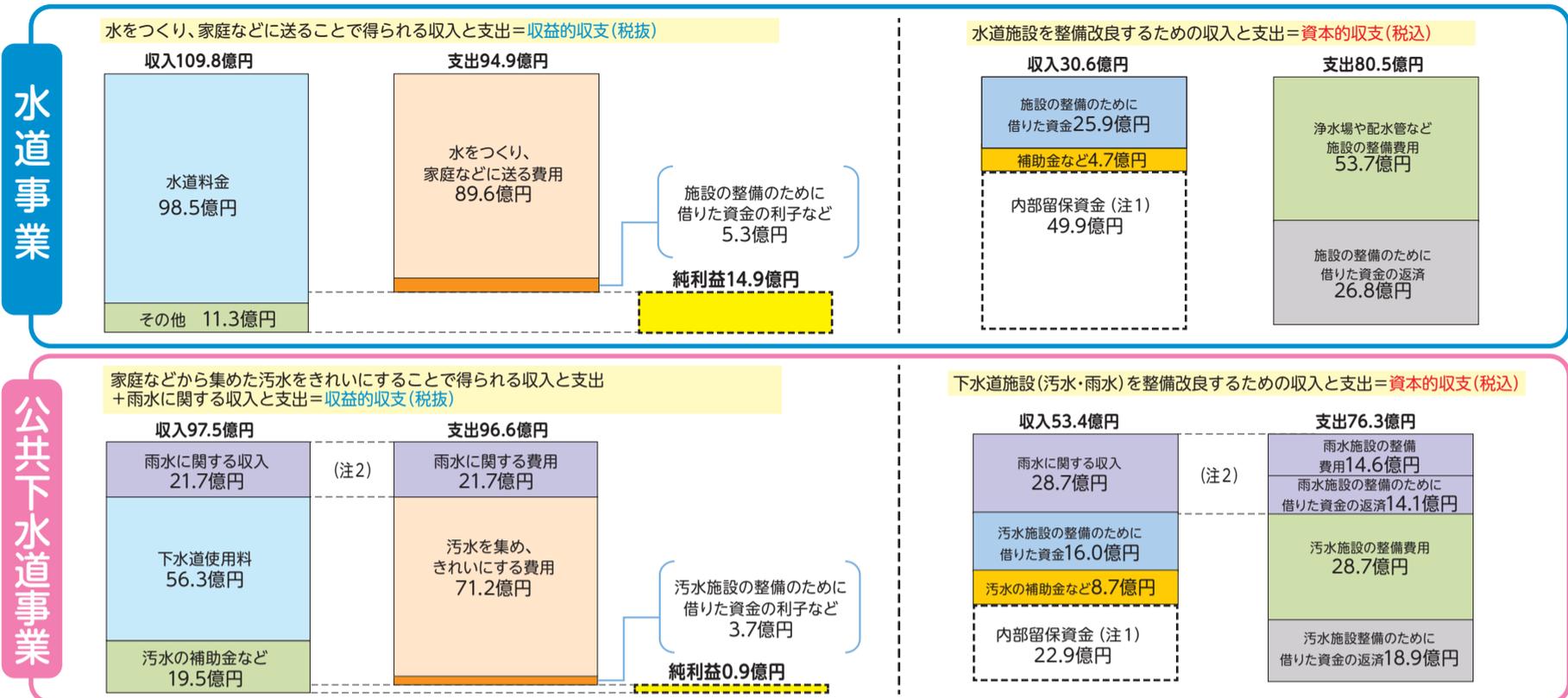


水道事業・公共下水道事業の令和4年度決算の概要

水道事業及び公共下水道事業はともに純利益（黒字）を確保することができました。4年度に生じた純利益は、水道事業においては施設の整備等の資金として活用し、公共下水道事業においては将来の純損失（赤字）に備えて繰り越します。今後とも、より一層の経営の効率化に取り組むなど健全な事業運営を図ります。



注1…資本的収入が資本的支出に対して不足する額は、減価償却費等により生じる内部留保資金で補てんしました。
注2…雨水に関する支出は、全て雨水に関する収入（公費など）で賄われています。
○水道局では「工業用水道事業」も運営しています。決算状況等については、水道局ホームページ・情報コーナーでも公表しています。



水道料金、下水道使用料を九州県都市と比較すると、鹿児島市は「水道料金は1番安く」、「下水道使用料は2番目に安く」なっています。
(標準的な家庭(1か月20㎡使用)における場合の金額：令和4年度末現在)

【経理課 TEL:213-8510】
【経営管理課 TEL:213-8507】

前回号に引き続き

「鹿児島市上下水道ビジョン」(令和4～13年度)の施策と取組事項について特集します!!

鹿児島市上下水道ビジョンは、50年先の将来を見据えて「基本理念」、目指すべき「将来像」を設定し、これを実現するための10年間の方向性(「基本目標」、「施策」)を定め、とりまとめたものです。

今回は、前回号に引き続き、5つの基本目標の中から**基本目標4「健全な事業運営」**と**基本目標5「信頼性の向上」**についての施策と取組事項を特集します!!



基本目標4「健全な事業運営」～持続可能な経営の推進を図る～

施設の最適化や効率的な維持管理及び経営基盤の強化に努め、健全で安定的な事業運営を図ります。

施策と取組事項

(1) DXの推進



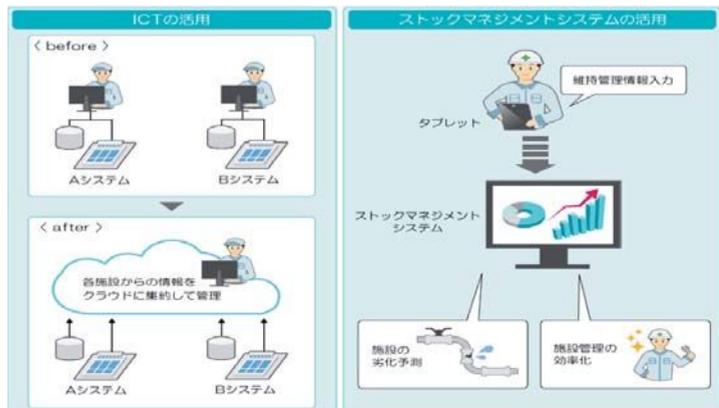
【具体的な取組事項】

○ICTの活用

上下水道施設の運転管理や維持管理の効率化を図るため、ICTを活用してDXを推進します。

○ストックマネジメントシステムの活用

上下水道管路情報システムや設備情報管理システムに維持管理で得られた情報を蓄積し、ストックマネジメントシステムを活用して、上下水道施設の劣化予測・事業費の平準化や施設管理の効率化を図り、DXを推進します。



▲「DXの推進」のイメージ

“基本理念～施策”の体系図



3ページに続く